

令和4年度第1回

白石町新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金効果検証会議 議事録

- 開催日時：令和4年8月8日（月）10：00～11：40
- 開催場所：白石町役場3階大会議室
- 出席委員：小鳥井委員、吉村委員、馬渡委員、西山委員、副島委員、江口委員、木下委員、百武会長
- 事務局：坂本企画財政課長、山下企画財政課長補佐、山口総合戦略課長、筒井総合戦略課長補佐、辻白石創生推進係長、堤白石創生推進係主事、陣内白石創生推進係主事

《 議 事 録 》

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 会長あいさつ

○会長

みなさん、おはようございます。今、ご紹介頂きました、副町長の百武でございます。

本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中に、第1回目となります、白石町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証会議にご出席を頂きまして誠にありがとうございます。そしてまた、今回この推進会議の委員をお引き受け頂きましたことに関しましては、重ねてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。今年も山形県をはじめ、全国各地で大雨等による災害が発生を致しておりますけれども、佐賀県におきましては連日、厳しい猛暑が続いております。また、水不足も心配をされている所でございます。新型コロナウイルスにつきましては、現在第7波が拡大しております。また原油価格や、物価の高騰で、町内におきましても消費の落ち込みや景気の悪化など様々な所に影響が出てきております。町と致しましても国の臨時交付金を活用致しまして、全町民の皆様へ商品券の給付をはじめ、今後の生活支援や、事業者支援、コロナ対策を行っていくこととしております、本日の会議の目的でございますが、委員皆様これまで臨時交付金を活用して取り組んだ事業内容を説明させていただいて、それが効果的であったのか等の検証をしていただきその結果の公表と、今後の検討の際に参考とさせていただきたく開催させてもらうものでございます。本日は令和2年度に実施を致しました事業の効果検証を予定しております。どうか委員の皆様方には忌憚ないご意見を頂きますようお願いを申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本日は大変ご

苦勞様でございます。よろしくお願いいたします。

4. 委員の紹介

5. 町担当職員の紹介

6. 設置要綱について

○総合戦略課長

続きまして6番目でございます、設置要綱についてということで、事務局の方からご説明差し上げたいと思います。

○白石創生推進係長

本日の白石町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証会議につきましては、この設置要綱に基づき開催を致しております。資料2の方でございます。第1条に規定しておりますとおり、創意工夫を凝らして効率的かつ効果的に交付金を活用し、実施状況と効果についても説明責任を果たすためにこの会議を設置しております。第2条につきましてはこの会議で審議する事項となります。第3条は委員と人数など組織に関する事を定めております。第4条は委員の皆様の任期を定めております。第5条でございますが、会議に会長を置き白石町副町長をもってあてます。第6条は、会議は会長が招集し、その議長となります。第7条は、会議の庶務について総合戦略課において処理を致します。簡単でございますけども、要綱についての説明は以上となります。

○総合戦略課長

ありがとうございました。要綱の件でご質問等ございませんでしょうか。

7. 協議事項

○総合戦略課長

そしたら、次の方に進めさせていただきます。

それでは、式次第7、協議事項に入ります。ここからは百武会長の方に会議の議長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(1) 令和2年度実施事業について

○会長

それでは、要綱によりまして、これから私のほうで議長を務めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。初めに会議の進め方や、臨時交付金の内容について、事務局より説明をお願いします。

○白石創生推進係長

この臨時交付金の使い道について、コロナとの関連性が乏しいといったマスコミ報道

とかまた国会の方でも取り上げられたということを受けまして、事業内容と検証結果を公表するようにと、国から自治体へ要請をされております。検証の方法は各自治体の裁量となりますけれども、本町では外部有識者の皆様方にお諮りをするのと致しました。そういったことで町がどのような事業に活用をしているのか、内容を説明させていただいてから、効果検証をしていただくこととしております。

初めに、本冊資料の3ページの方をご覧ください。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の目的です。新型コロナウイルス感染拡大の防止や、感染拡大の影響を受けている、地域経済や住民生活の支援、家賃支援を含む事業継続や雇用維持等への対応、新しい生活様式を踏まえた地域経済への活性化等への対応を通じた地方創生を図ることを目的とされています。使い道、使途につきましては、大きく4つに分けられております。1つ目が感染拡大の防止と医療提供体制の整備及び治療薬の開発、2つ目が雇用の維持と事業の継続、3つ目が次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復、4つ目が強靱な経済活動の構築となっております。1番目につきましては主にマスク、消毒液など3蜜対策となります。2つ目は主に事業継続応援金などとなります。3つ目は主に商品券やGo toトラベルなどとなっております。4つ目は主にデジタル社会の推進、DX、テレワーク等となります。次に臨時交付金の額ですけれども、令和2年度の交付決定額、559,762,000円で確定額が、558,983,108円となっております。参考までに令和3年度につきましては、交付決定額、確定額とも約227,000,000円となっております。令和4年度については現在のところ、313,000,000円となっております。

それでは、次の4ページをご覧ください。本日は主に令和2年度の実施事項分の効果検証を行いますので、ご参考までに、令和2年当時のコロナに関する社会情勢等を簡単にまとめております。マスクの不足、配布 休校、休館、休業 玉葱等の市場価格の下落、ワクチン接種開始、緊急事態宣言、特別低額給付金、持続化給付金、Gotoトラベル等、こういった状況だったかと思えます。この後、事業内容をご説明いたしまして、後日ですね、効果検証シートの提出をしていただきたいと思いますと思っております。検証シートの書き方は、後もってご説明いたしますが、事業ごとの評価と、総合的な評価もしていただきたいと思いますと思っております。次回の会議で公表することとなる効果検証結果をご確認いただきたいと思いますと思っております。説明は以上となります。

○会長

ただいまの説明について何かご質問等ございませんでしょうか。

それでは、無いようでございますので、早速1の、令和2年度、実施事業について入りたいと思えます。令和2年度は繰り越しも含めまして、25の事業を行っております。事務局から説明をお願いしますが、数が多いですので5事業ずつに区切って進めてまいりたいという風に思えます。それでは、初めに1番から5番まで説明をお願いします。

○白石創生推進係長

1番目が、「しろいし応援団」限定プレミアム商品券の2020発行事業です。事業概要

の方は、町内の各事業者の売上向上と、消費者の購買意欲の向上及び町外流出の防止を目的に、商品券を発行して商工業が振興することで、地域経済の回復を図りました。事業実績ですが、販売実績 150,000,000 円、発行総額 180,000,000 円、プレミアム率が 20%これに対して換金額が 179,550,000 円、プレミアム分が 29,925,000 円、事務費が 10,000,000 円です。また、販売日、購入者数、商品券取扱の事業者数などはご覧のとおりとなっております。事業費につきましては、全体で 39,925,000 円です。事業評価、これは内部の方の評価としまして、町内事業者の売上向上と消費者の購買意欲の向上により、地域経済の回復が図れました。

それでは次の 2 つ目です。ふるさと飲食店の応援事業です。事業概要は外出自粛の影響によって売上が激減しているなど特に大きな影響を受けている飲食店に対しまして、今後の事業の下支えと再起の糧となるよう交付金を支給しております。対象事業者は町内で営業している飲食店です。応援金額は、一店舗 20 万円、事業実績につきましては、81 店舗、事業費と致しまして 16,200,000 円、事業評価として町内飲食店舗の事業継続に寄与できました。

それでは 3 つ目です。子育て世代の生活支援ということで、【町内児童・生徒学校給食無償化】でございます。まず、この給食費でございますが、町の施策としまして、小学校 6 年生と中学校 3 年生の給食費を無償としております。庁舎内ではこの小 6 と中 3 を無償化学年と名付けております。このことを踏まえまして、事業概要ですが、3 行目の所ですが、令和 2 年度に限り小中学校全学年の児童生徒の給食費の無償化を行い、合わせて、町外の小中学校及び特別支援学校へ通学する、全ての児童生徒の保護者へ給食費相当額を補助することで、経済的負担の大きい、児童生徒を持つ保護者の生活支援を行いました。参考までにここには記載ありませんが、給食費の金額を申し上げます。小学校一年生から 5 年生までは、年額 46,200 円で、年間 184 食となっております。一食あたり 251 円です。中学校 1・2 年生は年額、53,900 円年間 185 食、一食あたり、291 円となっております。事業実績は、賄材料費、調定額、白石町給食費無償化に伴う町外学校通学者等支援助成金について、ご覧のとおりとなっております。事業費は、67,251,425 円うち、交付金を 63,741,550 円で充当をしております。事業評価につきましては、子育て世帯への生活支援ができました。

次に 4 番目の白石町事業継続応援金です。事業概要は、売上げが大きく減少している町内の商工業者の事業継続を支援するため、応援金を支給しています。対象事業者でございますが、町内に会社、事業所、店舗等がある。町内で商工業を営む中小企業・小規模事業者。前年度売上額が 1,000,000 円以上で、令和 2 年 2 月から 7 月までのいずれかの月の売上額が、前年同月比で 20%以上減少している。令和 2 年 2 月 27 日現在で、事業実績があり、今後も事業継続する意思がある。白石町ふるさと飲食店応援交付金の交付を受けていないとなっております。事業実績は、397 事業所、事業費は、79,400,000 円。事業評価として、町内商工業等事業所の事業継続に寄与できました。

続きまして5番目の農業生産資材廃棄物処理費負担軽減対策事業です。事業概要は、2行目の所ですが、農業者にとって、厳しい状況が続いているため、農業生産資材廃棄物処理費用に対する町の負担額を上乗せすることで、農業者の負担軽減を図っております。処理費用は、ビニール類で37円/kg、町が19円、JA2円、個人負担が16円、例年は、町が2円、JA2円、個人負担が33円となっています。嵩物類がご覧のとおりです。事業実績は農業用廃プラスチックの個人負担金の1/2を町の負担として上乗せを行い、個人負担額を33円/kgから16円/kgに軽減しております。事業費は、7,038,646円、事業評価として、農業者の負担軽減が図れました。一応5番目までは以上となっております。

○会長

ただいま1番から5番までの説明がございました。これについて何かご質問、ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

○委員

1番目の項目で、一番上に書いてある大きな影響を受けている飲食店に対してと書いてあるんですけども、その判断というのは何かあったのでしょうか。

○総合戦略課長補佐

はい。前年の売上額が1,000,000円以上で、そして令和2年2月から4月までのいずれかの月の売上が、前年同月比で20%以上減少していることということでしております。

○委員

はい、わかりました。

○委員

農業廃棄物についてなんですけども、JAに組合員でない方、何人かいらっしゃる場合に関しては、どういった対応をされるのか。

○総合戦略課長補佐

販売農家の方は、大体組合員になられております。販売農家じゃない方はちょっと組合員ではない可能性があり、家で少しだけされている方など。ある程度、販売農家は組合員ということで対応はできているのではないかと思います。

○会長

漁業は漁業で、漁業の方を対象に同じ事業をおこなわれています。

○委員

農協も同じような補助を行っていたかと思うがそれとは別か、それとも同じものでしょうか。

○事務局

同じものになります。

○会長

他にございますか。また何かありましたら、後で質疑対応いたします。

それでは次、6番から10番に入ります。説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

私、白石創生推進係の陣内と申します。よろしくお願ひいたします。

それでは6番目、保健衛生総務費について私の方から、説明をさせていただきます。まず事業概要といたしまして、こちらコロナ感染拡大を予防するため、マスクと体温計を購入いたしました。事業実績は、不織布マスク7000枚で計385,000円、非接触式体温計10本で計126,500円、電子体温計30本で計85,800円となっております。事業費は総額といたしまして、597,300円です。こちらの事業評価ですけれども、目的のとおり感染拡大防止が図れたと考えております。以上です。

○白石創生推進係長

次の7番目の土地改良事業負担軽減特別支援事業です。事業概要としまして、厳しい状況となっております農業経営の持続化を図るため、土地改良事業の負担金を軽減しております。事業実績は白石土地改良区の経常賦課金の負担軽減を行っています。町内全域の、現福富干拓の畑について単あたり575円。廻里江・畜産団地の畑について単あたり212円が、支援額となります。2つ目が土地改良事業の事業費の地元負担金の軽減として、牛間田区の令和2年の事業費の地元負担金、ため池負担金の軽減を行っています。2つ合わせて事業費としまして、32,540,430円。事業評価でございますが、農業者の負担軽減を図るとともに、土地改良事業の円滑な推進を図ることができました。

続きまして、8番目の白石町たまねぎ再生次期作支援緊急対策事業です。事業概要は、外食などの業務用途の大幅な減少で市場価格が暴落し、経営が悪化しているたまねぎ生産農家に対しまして、次期作生産に向けた、取り組みを支援することにより、生産意欲の維持と経営の安定を図っています。事業実施主体は佐賀県農業協同組合、青果業者となります。助成対象者は、たまねぎ生産農家です。事業実績は、令和2年5月に青果用として市場に出荷した場合、単あたり10,000円。4月5月に需給バランス確保のために出荷しなかった場合、単あたり6,000円。出荷型が、27,825,000円。需給調整型が、7,503,600円。事務手数料が706,779円。事業費としまして、36,035,379円。事業評価は玉葱生産農家の次期作に必要な取り組みを支援することにより、作付減の抑制を図ることができました。

○白石創生推進係主事

総合戦略課白石創生推進係の堤と申します。私の方から9番、白石町施設花き再生次期作支援緊急対策事業についてご説明いたします。事業概要は園芸作物の消費の減退で市場価格が急落し、農業経営が悪化している花き農家に対し、次期作に向けた取り組みを支援することにより、営農意欲の維持と経営の安定を図りました。助成対象者は、令和2年3月から8月中に対象品目の出荷のある施設花き農業者、及び農業者の組織する

団体です。対象品目は、露地花き、花木、切り枝で、令和2年3月～8月に出荷がない品目等を除きます。支援内容については、施設ユリは2万円/10a、それ以外の施設花きは1万円/10aを交付します。事業実績はトルコギキョウ82,000円。カスミソウ14,000円。キク25,000円。鉢物29,000円。その他64,000円となっており、事業費全体は214,000円です。事業評価は、施設花き農業者が行う次期作に向けた作付けの取り組みに対し支援を行うことで、経営安定と営農の継続を図ることができました。以上です。

○白石創生推進係主事

次に10番目です。白石町肉用牛農家経営維持緊急対策事業についてご説明いたします。事業概要はインバウンドや外食などでの牛肉の需要減少により、牛肉枝肉価格や子牛販売価格が下落していることから今後も肉用牛の生産を維持し、畜産農家の営農意欲の維持と経営安定化を図るため支援を行いました。この事業の助成対象者ですけれども、肥育牛農家及び繁殖牛農家となります。支援内容といたしまして令和2年3月から9月に出荷販売された肉用牛及び子牛の出荷頭数に応じて交付金を交付しております。また、支援単価は、肉用牛・肉用子牛、共に1頭につき5,000円を支援しているところです。事業実績は、肉用牛が459頭の計2,295,000円。肉用子牛が386頭の計1,930,000円となっており、事業費総額といたしまして、4,225,000円を支給しているところです。事業評価は、こちらも目的のとおり、肉用牛肥育農家及び繁殖牛農家の生産意欲の維持と経営の安定を図ることができたと考えております。以上です。

○会長

ただいま6番から10番までご説明が終わりました。何かご意見、ご質問ございましたらお願いします。

○委員

6番の保健衛生総務費の中で、マスク、体温計の設置はどのような所に設置されているのでしょうか。

○企画財政課長

企画財政課長の坂本博樹です。私の方から少し説明させていただきます。このマスクが、白石町にはマスクとか体温計等、備蓄をたくさんしておりますけれども、それと合わせて、コロナが発生した段階だったので、どれくらいの状況かわからない、というところもあって、来庁者数とか、そして現状の備蓄の状況、そういったところもあわせて今後の対策ということで、マスクについてはこの時点で7,000枚程購入をさせていただいたということですね。体温計については、例えば母子検診とか乳児検診とかそういった検診業務等にも使わせていただきたい、ということでの購入と記憶しております。この時点ではまだ、例えばサーモグラフィーのそういった体温計の購入までは至っていないのかなと思っています。

○委員

土地改良の7番目のところですけども、これは土地改良全体に支援されたものか、個

人に対して支援されているかってことですよ。

○白石創生推進係長

町からは土地改良区に直接支出しています。

○委員

土地改良負担費とありますが、それに対する補助を直接おこなっているのか。負担金を軽減すると書いてあるので、土地改良の事業に直接いつているのか、それとも負担金の補充に使われたのか、それは分からないでしょうか。

○企画財政課長補佐

感染拡大で、先ほどから説明がありましたけど、農作物の需要が減って農業者の収入が減っているだろうということで、その農家の方の政策経費としての負担を軽減したいという意味で、農家の方の負担金の一部を町の方が負担させていただいたというようなことで使わせていただきますけど。

○会長

結局、右から3番目までの対象者負担の半額を町が補助してよ、ということだから、農家個人はもう半分しか収めんでよかったということになるわけやろ。

○総合戦略課長補佐

そうですね。129,000,000円のうち半分が対象者負担で、あと残りを団体と町からの特別支援ということしております。

○会長

他にございませんか。

無いようですので、次に11番から15番に入ります。説明をお願いします。

○白石創生推進係長

11番の無線システム普及支援事業等補助金です。事業概要は、本町の福富地域におきまして採算性等の問題から、電気通信事業者による光ファイバ整備への取り組みがなされておらず、白石、有明地域と情報格差が生じていました。感染症防止の観点から新しい生活様式に必要な情報通信基盤整備として、光ファイバ未整地地域である福富地域に光ファイバ整備を行いました。なお、白石と有明地域の方はNTTにて光ファイバの整備が行われております。事業実績です。国の高度無線環境整備推進事業を活用して、高速かつ大容量無線局の前提となる光ファイバ等の伝送路整備等を整備しようとする事業者を公募により選定し、その整備の費用に対する補助金を交付しています。なお、本事業にあたっては、当町のトータルコスト削減や今後の技術革新にも容易に対応できるため、豊富な経験やノウハウを有する民間事業者を活用する「民設民営方式」を採用しました。民間事業者についてはケーブルワンとなります。白石町光ファイバ整備事業費補助金に係る事業として、落札業者のケーブルワンが事業費の1/3の国庫補助を受領され、残り2/3を町から補助をするものとなります。事業費は、38,948,000円。これは、臨時交付金の充当額となります。事業評価としまして、テレワークや在宅学習など国が

推進する「新しい生活様式」としての次世代の社会インフラの情報通信基盤としての光ファイバ整備が完了できました。

続きまして、12番目のテレワーク環境整備事業です。事業概要としまして、新たな災害対応スタイルの構築のため、役場庁舎外から役場業務が行うことができるように、テレワークができる環境整備を行いました。事業実績は、庁舎外から庁舎内の職員用のパソコンと同じ環境で業務ができるテレワーク環境システムの導入。それから、テレワーク実施に伴うネットワークトラフィックの増加に対応した庁舎内ネットワーク機器の更新。3つ目が庁舎外への持ち出しを前提としたテレワーク用モバイルPC及びテレワークシステム用のサーバーの導入。4つ目がWeb会議用のカメラ・マイクの購入です。事業実績としまして、22,534,105円。事業実績は役場庁舎外から役場業務が行うことができるようになることで、国が推奨する「新しい生活様式」に対応した業務対応が可能となりました。

○白石創生推進係主事

13番の白石町長・町議会議員選挙についてです。事業概要は選挙の際の投票所や開票所における感染予防対策として、備品や消耗品を購入しました。事業実績は消毒、手袋、鉛筆、マスク、493,212円。総合センターのLAN配線作業、121,000円となっており、事業費全体は614,212円です。事業評価は投票人や投開票従事者等の感染予防に寄与することができました。

14番の防災費についてです。事業概要は、災害時の指定避難所における感染症予防対策として、備品、消耗品を購入しました。事業実績は、簡易ベッド95基、防災マット152枚で1,575,860円。消毒液、手袋などで197,085円。パーテーション100基で3,999,050円。サーモグラフィカメラ5台で1,763,630円。簡易収納庫4基で1,778,986円です。事業費は9,314,611円でうち、交付金充当が9,310,000円となっております。事業評価は、感染症拡大防止対策を行うことで、施設利用者や職員等の感染予防に寄与することができました。以上です。

○白石創生推進係長

15番目の庁舎新型コロナウイルス感染予防対策整備事業です。事業概要は、庁舎のコロナ対策として、新たな課名表示やフロア案内板を設置し、来庁者への配慮と接触機会軽減を図りました。また、庁舎内の換気の必要性が高まり、安全で快適な換気対策を行うほか、Web会議に対応できる環境を整備しました。事業実績は、令和2年度と令和3年度、2カ年に渡って行っております。令和2年度の方は、主に備品購入費として、窓口カウンター飛沫感染防止スクリーン、パーテーションなどを購入しております。令和3年度については主に、誘導サイン作成業務委託料あるいは、備品購入費として、Web会議用の大型モニター、デジタルビデオカメラ、インターネットLIVE配信機器などを購入しております。事業費としまして、2カ年合わせて、13,930,034円です。事業評価は、来庁者の利便性と安全性を向上することができました。また、Web会議の機会

が増え、職員のスキル向上と非対面により感染予防対策を講じることができました。庁舎内外へ LIVE 配信の対応が可能となりました。以上となります。

○会長

はい。11番から15番までの説明でした。ご質問、ご意見ございませんでしょうか。

○委員

12番。テレワーク事業ですけど、これは職員さん達が自宅でできるそうですね。私もこの時期、家に籠ってやっていたんですけど、やっぱりかなりお金、自己投資と自分のお家に自己投資かけまして、仕事なのに。そこら辺のサポートっていうのはこの事業からしなくてよかったのか、どうなっている。

○総合戦略課長

そうですね、職員にネット環境があるということをまず前提にさせていただいておりまして、これ実は Web で本庁舎の中にあるパソコンをリモートで操作するような状態なんですよね。なので、役場の中でキーボードを打たなくても、自宅から遠隔操作みたいな囲いとなっていて、職員の方に関して自宅の環境整備の方に補助ということはやっていません。そこは Web 環境がある、パソコンがある、ということを前提に。

○委員

前提にということですね。そこもあつた方がいいんじゃないかと思って。

○総合戦略課長

なるほどですね。そこはうちのパソコンを採用してという形であつて、ネット環境はもう整っていると。

○会長

他にありませんか。

○委員

15番ですけども私も仕事柄、農業振興課とかによく行くんですけども、たまに他の課に行きたい機会があつて、どこに行ったらいいのか分からないということがありますので、特に課名の表示とかですね、番号札とかが新たに設置されていますので、その点、分かりやすくていいなという風に感じました。

○会長

他ございませんか。

○会長

さっき、光ファイバの整備地域で、有明と白石とあり、2つは NTT ということで説明があつたんですけども、白石町は NTT ですが、有明はケーブルワン業者の方で整備してあると思っておりまして。

○総合戦略課長

一部、そこはちょっと補足させていただきますと、白石でも有明でも一部 NTT がきていない、ごく一部の地域が実際ございます。プラス α 、福富地域というのが NTT でもき

でないエリアだったんです。そこをちょっと整備すると、有明地区に関しても、そこは事業所、ケーブルワンの責任でというか、今後の事業展開として、町内全てにこれからは光ファイバを通すという計画になっています。

○会長

やはり、別のケーブル会社が有明地域だったのを、ケーブルワンの方が引き継いで、してらっしゃるというか、NTTも有明とか通つととか。

○白石創生推進係長

NTTもネット環境は入っているとは言われていました。

○総合戦略課長

一部、その取り付け部分というのが、入っていないところが確かにあったとは思いますが。ただ、いずれにせよNTT、あるいはケーブルワンの方で光ファイバの網というのは町内全域に届くという。特に医療関係の転送、そのあたりが、光ファイバが通っていないと、非常にデータが重いとかそういったところがありましたから、町の方でもここは緊急にということと、やっぱり今度、学校関係ですよ。ここはインフラ整備をしておかないと、今後の対応ができないというところがありましたので早急に行ったところですよ。

○会長

ちょっと休憩を取りたいと思います。部屋の時計で11時からでよろしいですね。8分程度休憩します。

(休憩)

はい。それでは再開をさせていただきたいと思います。次に16番から20番。説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

それでは16番、介護予防サロン感染症対策事業についてです。こちらの事業概要は、高齢者の通いの場である健康体操サロンにおきまして、コロナ感染予防として、非接触型体温計を支給しております。事業実績は、39台を導入し、事業費は総額、157,872円となっております。こちらの事業評価ですが、高齢者の感染症予防を図り、感染リスクを低減することができました。以上です。

○白石創生推進係主事

17番、中央公民館費についてです。事業概要は町有施設の、白石町総合センター、楽習館、福富ゆうあい館、有明公民館の感染症予防対策として、デスクスクリーンの設置、マスク・消毒液を購入しました。事業実績は、カウンタースクリーン221,210円、体温計や消毒液などの衣料品に99,000円、消毒液、紙ワイパー、不織布マスクなどの消耗品573,320円となっており、事業費全体が893,530円となっております。事業評価

は、公民館ほか社会教育施設での活動において利用者や職員等の感染予防に寄与することができました。

○白石創生推進係長

18番目の学校 ICT 環境整備事業です。ICT とは information and communications technology となっています。事業概要は、GIGA スクール構想を推進することにより、全学年の児童生徒一人ひとりがそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指しました。また、感染症の影響により、自宅待機を余儀なくされた場合のオンライン学習に寄与することを目指しました。GIGA スクール構想とは、児童生徒一人一台の端末と高速大容量の通信ネットワークを整備する文科省の取り組みとなります。事業実績は、国の補助事業を活用して校内通信ネットワーク整備工事と学習用パソコンを整備しています。事業費としまして、126,635,116 円これは国庫補助金を除いた町の負担部分ということで、ここに臨時給付金を注湯しています。事業評価は、小中学生の児童生徒一人ひとりがそれぞれに端末を持ったことにより、今後の ICT 教育の充実に対する体制を整えることができました。また、感染症が拡大した場合のオンライン授業の体制を整えることができました。

続きまして、19番目のふれあい郷管理費です。事業概要は、指定管理により管理をしていますが、施設利用の休止及び利用制限を行っております。今後の入場制限緩和等を考慮し、制限解除後の円滑な管理や今後の感染症拡大防止に配慮した上での施設点検管理や、環境整備に係る経費に支援を行っております。事業実績は、ふれあい郷の指定管理者であります、白石町文化振興財団の方にコロナ対策に係る支援の委託料を支払い、コロナ対策を実施されております。事業費としまして、3,500,000 円。事業評価は、来館者の利便性と安全性を向上することができました。

○白石創生推進係主事

次に20番、町民税費についてです。こちらの事業概要は、確定申告会場におきまして、感染予防対策として密にならないようコールベルシステムを導入したところ。このシステムの導入により、会場内ではなく一階のロビーや自家用車の中で、順番を待つことが可能となっています。事業実績及び事業費はコールベルシステムの購入といたしまして、1,158,080 円となっております。事業評価は、会場の中で待機者が密になることなく来庁者や職員等の感染予防に寄与することができたと考えられます。以上です。

○会長

ただいま16番から20番までの説明でございました。ご質問、ご意見あったらお願いします。

○委員

18番の学校 ICT 環境整備事業ですけれども、オンライン授業の利用状況というのはどんな状況でしょうか。実際、結構感染が今増えて、小中学校も休校とかあっているかと思えますけれども。

○総合戦略課長

こちらにつきましては、学校が例えば、感染状況が酷くて休校になった場合ですとか、そういった場合に対応するような、ご家庭でも Web 上で授業ができるようにということ、整備をしていったわけでございますけども、幸いにして一部休校ですとか、当然、学級、学年閉鎖等はありませんでしたが、オンライン通じて直接やり取りするというケースがおそらく今まで出てきて無いのではないかと考えております。ただ、備えは備えとしてということもありますし、ただそれだけではなくて、やっぱり ICT 技能を活用するというのは今後、将来にわたって非常に必要になってくるということでもあります。ですので、それを活用した、例えば宿題を出せる、ですとか、そういったところにまさに ICT の活用として整備させていただいているという側面もございます。

○会長

他にございますか。

○委員

私の子供は、今中学生ですけど、この間中学校で流行ったときは、パソコン通じオンラインで健康観察が朝と夕方に行われていたりとか、自宅待機者は学校の授業が見られるようにされていて、普通に自宅で授業を見ていたよ、とかいうように活用しているみたいです。今も持って帰ってきていて、先生から登校日の前に何時にクラスルームに入ってね。というような連絡があっています。

○総合戦略課長

そしたらもう、実際に活用されているんですね。情報が共有されておらず申し訳ありません。健康観察の方もされている。

○委員

されていまして。3日間くらい休校だったんですけど、朝の何時にクラスルームに入ってねとか、体の異常はないですかとか、そういうのも書かれていたし、午後になったらもう1回クラスルームするからね、っていうような感じでそういう健康観察とかは、やっていました。授業はまだ全体のオンライン授業はされてはいないですけども、急遽その3日間休みの時は健康観察にタブレットは使われていました。

○総合戦略課長

授業をライブで見るといような状態までは、いつていない。

○委員

みんな学校に行っていて、待機されている方が授業を見るっていうのには使われています。

○委員

関連して質問いいですか。私、まさしくコロナ禍にいたんですけども、友達に白石高校の校長先生もいるんですよ。先生方のような、準備する方からいうと、これだけ機材揃えたからやれって言われても困ると。質のいい教育を届けたいのであれば、もうち

よっとソフトウェアのサポート、こういう教材を使うといいですよ、というようなサポートも欲しいなって言われていました。実際これがそういったところのハードウェアだけの補助だったのかなという気がして、ソフトウェアの対応という、例えば ICT をするために専門の業者さんだったり、専門の教育技術者だったり、そういう人達をうまく小学校なり中学校なりに派遣して、質のいい教育が届けられたという風なことに使えなかったのか、という気がしたんです。本当にドタバタしながらとりあえず集計しているだけっていう、そんな状況なので本当にその教育がうまくいっているのかわからないという話もあっています。

○企画財政課長

この交付金については、ここに書いてあるとおり、まずハードを整備する事業に使おうというところが1つです。言われるようにゆっくり運用していくか、というところで現状として他の委員が言われたように、今後、例えばデジタル教材や、そういったものの活用については、学校教育課のほうで県とどういった形で進めるか、ということできているかと思います。ですが、まだそこまで ICT の支援員について、操作の使い方とか支援員については、各学校とかに配置をいたしておりますけども、具体的にその教科書の進め方とかそういったものについての支援員とかは、まだないかなと思っています。先ほど言いましたように機器の使い方や、例えば問題が発生したときに対応は即座にできるような ICT の支援員についてはすべての学校に対応できるような配置はしてはおりません。

○委員

今回のこの事業に関しては、ハードだけ。

○企画財政課長

はい、ハードの部分だけです。

○会長

他ございませんか。

○委員

今回のパソコン、小学校1年生から中学校3年生までということですけども、例えば1年生で入学したときにそれをずっと持っていくのか、それとも学年毎にされていくのか。あと、パソコンの中もシステムがずっと変わっていくとは思いますが、バージョンアップとかまで考えていらっしゃるのでしょうか。

○総合戦略課長

基本的には個人のものでずっと持っていく。当然言われるように、OS系であるとかそういったもののバージョンアップ、システム自体もそうですけど、バージョンアップはできます。更新をしていくような形になります。小学校1年から中学校3年生までなので、実際その期間1人の子が中学校3年生まで持っておけるかどうかというところはあるんですけども、高校なんかは3年間1人の人間が持つてとかいう形になるんです

けど。

○委員

16番ですけど、非接触型体温計39台も必要だったんですか。教室で使うのに39台あるということは39人測る人も必要ですよ。一緒に使うってわけではなくてこんなにたくさん必要だったのかな、という。

○白石創生推進係長

サロンをされている箇所が39カ所あって公民館とかに1つ必要という感じですね。

○委員

それぞれ1つずつという形なんですね。役場を出張で使うとかじゃなくて、もうその場所に置いてあるということですね。分かりました。

○会長

他なにかございませんか。

無いようですので最後、21番から25番まで説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

21番、新生児子育て応援臨時給付金についてです。事業概要は、国が給付する特別定額給付金の対象とならない新生児(令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた子供)1人につき10万円を給付しました。対象は令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた白石町の住民基本台帳に登録されている子供さんで、給付対象者は、その父か母もしくは、住民基本台帳に登録されている同一世帯の者です。給付額は、対象の子供1人につき10万円です。事業実績は、101人に給付を行っており、事業費全体が10,100,000円となっております。事業評価は、子育て世帯の経済的負担の軽減に寄与することができました。

○白石創生推進係長

続きまして22番、医療・介護・障害福祉事業者応援金です。事業概要は、日々、最前線に対応されている医療機関及び介護・障害福祉事業者を応援するため、町内の医療機関、介護・障害福祉事業者に対し支援金を交付しました。交付額は、均等割、医療提供加算、事業加算、病床定員割で算定をしています。事業実績は、医療機関、31医療機関。介護福祉事業者が、13法人64事業。障害福祉事業者が8法人17事業です。事業費は20,800,000円となっております。事業評価としまして、地域の医療介護等の提供事業者を支援することで、福祉の充実を図ることができました。

○白石創生推進係主事

次に23番、母子相談事業費についてです。事業概要は感染拡大防止の観点から、母子検診の実施回数を増やす取り組みを行いました。具体的には乳児検診を12回から14回、1歳6カ月検診を6回から10回、3歳6カ月検診を8回から11回に増やしております。事業実績は、検診の増に伴いまして医師への謝金300,000円。業務委託料254,160円となっております。事業費は総額、554,160円でした。この事業により感染拡大防止を図る

ことができたという評価をしているところです。

○白石創生推進係主事

24番、歯科保健事業費についてです。事業概要は、園児のフッ化物塗布用消耗品の購入、保健師・管理栄養士の増員で検診を行いました。事業実績は、保健師10人×5,150円で、業務委託料が51,500円、事業費51,500円となっております。事業評価は、感染拡大防止を図ることができました。以上です。

○白石創生推進係長

最後、25番目、令和2年度白石町事業者支援金です。事業概要は、売上が大きく減少している商工業等事業所のコロナ対策及び、事業継続を支援するため、応援金を支給しています。対象事業者は町内に会社、事業所、店舗等がある。町内で商工業を営む中小企業・小規模事業者である。3つ目として令和元年又は令和2年度売上額が100万円以上で、令和2年8月から令和3年3月までのいずれかの月の売上額が、前年同月比で20%以上減少している。最後に、令和2年8月1日現在で事業実績があり、今後も事業継続する意思がある。です。事業実績としまして、1事業所あたり15万円の支援ということで、200事業者となっております。事業費としまして、30,000,000円です。事業評価は、町内商工業等事業所の事業継続に寄与できました。以上となります。

○会長

21番から25番までの説明でございました。ご意見、ご質問ございませんか。

○委員

22番ですけど、医療介護のところですよ。交付額のところは3つ目、事業加算ですが、ここが事業ごとに5万円ということで、とてもありがたいんですけど、このあたりの交付額の根拠とかが何かあったんですか。この加算に関して。他のところは結構わかりやすく根拠があったので。

○企画財政課長

コロナ交付金については、ちょっと今、2年度25事業をまず見ていただくように、金額が大きいものであれば、先ほど51,500円とか、少ない金額もある中で町として何が一番必要なのか。それと、それぞれの部署からこういった事業ができないとか、そういったものを募って今回まず、どうしても町の財政も厳しい状況の中で、いかに平等により広くということ、このコロナ事業の選択をして事業をしています。この22番については、当初、この応援金を作るにあたって、一律って病院の大小に関わらず、病院のご負担といいますかご苦労というのは変わらないだろうということで一律という考えもございました。そういった中でやはり大きいところ、例えば、入院者が多いとか、そういった事業を集中的にしている法人とか、いろいろあるので、そこを分ける必要があるんじゃないかという、そういった議論をしたら、金額に根拠というのは、なぜ5万かといわれるとちょっとそこはあれなんですけど、ある程度例えば、5万とか10万とかそういった区分けの中で、どれくらい交付金を活用できるかということのなか

で、白石町の医療介護福祉事業者にある程度、公平性の中で応援できるという中での試算ということで、させていただいたところです。よろしいでしょうか。

○会長

他にございませんか。

○委員

商工業に関する部分で、1番と2番と4番と25番とレジユメの資料を4つの項目で、事業を立ち上げていただいている、商工業者にとっては非常にありがたいという声を生で聞いております。特に国の売上減少が50%以上減少したところというルールがある中で20%の減少で支給対象としていただいている非常に今も事業継続が図られています。また、今後こういう機会がありましたらご支援いただければというような、意見ではないですけど感想でした。

○会長

他にございませんか。

○委員

商工会さんにちょっと聞きたいことがありまして、補助金とかいろんな例えば計算書とかがきて、それを私の方とかにも相談があってこういう仕様でいって、あと商工会さんとか会議所まで行ってくださいという案内をしていたんですけど、実質どれくらいの混雑具合だったのか。その辺農業関係は結構町の方から補助がだいぶあったと思うんですけど、意外と町の商売人さんとかは自分で見つけて自分でされるというところで、情報がなかなか難しい中で、私の所どがんやろうとか、実際にちょっと手伝いながら、具体的な実務は商工会の方に行かれてからしてくださいみたいなこととお話ししていたんですけど、だいぶ混んでいたとか、人手が足らなかったとか、その辺ちょっとどうかな、ということで、教えていただきたいなと思います。

○委員

それに関しましては、とにかく数多くご相談いただいたというのが正直なところです。国、県、町それぞれから助成金、給付金、補助金、まだ今現在も続いていますけども、同じ補助事業期間がずっと重なりながら、ずっと切れ目なく始まっては終わり始まっては終わりというのが繰り返しでしたので、その都度、事業者の方には通知を、会員事業所には郵送なり、申込書とかパンフレットを送らせていただいて、それを見た方から問い合わせの電話だったり来訪だったり、切れ間なくありました。人手も少ない中で回したという状況です。

○委員

佐賀市の方とか混んでから、だいぶ待ち期間があるみたいなところがあったんで、白石町の状況はどんなところかなと思ってですね。聞いたところでございます。

○会長

他にございませんか。

それでは、もう1回1番から全体を通してですね、また聞き忘れた、言い忘れたということがあればお願いしたいと思います。

○委員

1つだけ、言い忘れたことがありますして、1番の中に事務経費が、事業実績の中の事務費分ってありますよね。10,000,000円ピッタリなんですよね。ん、とやっぱり思っちゃうんです。これは逆に言うとなんか不自然に感じちゃうので、やっぱり10,000,000円ちょうどなんですか。

○総合戦略課長補佐

はい。10,000,000円をお願いをしました。

○委員

15番ですけど、Web会議用の大型モニター3基とか、4K対応デジタルビデオカメラ等ありますけど、これがもし、PTAとか講演とか会議とかにちょっと不都合が多いんですよ。そういう時に借りたりとかはできないんですかね、ちょっと講演会をするとか。

○総合戦略課長

プロジェクター系とかは、総務課でどうにかできるとは思っていますけども、大型モニターに関してはできません。

○委員

配信機器とかは。

○総合戦略課長

その貸し出しはあってないですね。配信機ですよ。ライブ配信機とか。

○委員

学校の方で不都合があってですね、各小学校に迷惑かけることが多々あるので。

○企画財政課長補佐

今のところ、導入が庁舎内での利用ということで常時しておりますけど、私たちの判断で今貸し出しできるとかできないとかコメントできないものですから、ちょっとその辺は今後検討させていただきたいなと思いますけど。

○委員

モニターを借りたらちょっと不可になるというそういうこと。

○企画財政課長

PTAの会議の中でZOOMの会議をしたりだとか、というところですよ。

○委員

入れなかった、とかいろいろあるので。

○企画財政課長

じゃあ今はそしたら、機材はPTAさんの方が準備しているんですか？

○委員

私物です。

○総合戦略課長

私物になってくるとハード問題とかWeb環境の話とかあるけんですね。実際もうPTAとか、広域でされるときは、Web会議を結構されているんですか。

○委員

今はしています。去年くらいからで、他所は学校教育課さんとかが貸出てくださいっている状況なんですよ。でも、白石・杵島に関しては私物状態なので、貸出してもらえるのかなと。

○総合戦略課長

そのあたりも含めて、ちょっと内部で検討させてください。

○会長

他にございませんか。

○委員

18番、先ほどありましたパソコンの購入の件なんですけども、先ほどちょっと購入で何年くらいの消耗かということだったんですけども、たまたまうちの会社が、営業で7000人くらい従業員いまして、3年くらいでだいたい変えています。やり方としては、リース契約をしていて例えば途中で営業していた時に水がこぼれた、動かなくなった、じゃあすぐに新しいのが来て、という形と、あとウイルス対策です。日々どんどん新しいものが入ってきて動かなくなってきたりとかするので、そういう業者に話したらだいたい3年から5年くらいを目途にという話はしているので、うちの会社ではリース契約でそういうことをやっていますが、こういう補助事業とかになると購入しなきゃいけない部分もあったりとかするのかなというところもありますが、そういうそっちから降りてくる部分と子供達が使っていく中で精度をある程度良い状態のものを継続して持つていくときには3年から5年くらいの期間で予算も必要になってくるんじゃないかなということで、ちょっと情報提供ではないですけどお伝えさせていただきました。

○企画財政課長

役場のソーシャルも大体5年とさせていただきます。ですからこれもICT環境整備事業のひとつで、国の補助事業と本来町が負担すべきところをコロナ給付金で導入していきますけど、まさに言われるように次の更新、現在入れているものの当然言われるように、5年、あるいは5年とか6年とかそういったとこで更新をしていく必要があります。当然その部分の財源というのがこのことは結局、コンピュータの方が必要になるということですので次回更新が、ちょっと1つの課題でもありますけど、そういったところ今後、十分検討をして進めていきたいというところですよ。

○会長

これは、全国で声が挙がっているところで、次の更新時期も何とか補助をというところで要望が出ております。

○会長

はい。それでは、今日ちょっと言えなかったこと、後で気づいたということがあれば、また事務局の方にもお聞きしていただきたいという風に思います。

続きまして、協議事項の2番目、効果検証シートについてに入ります。事務局から説明をお願いします。

○白石創生推進係長

一枚紙の資料で効果検証シートという裏表のシートがあるかと思います。この効果検証につきまして、大きく2つお願いをしたいと思っております。まず1つ目が1番目としまして事業ごとの評価をしていただきたいと思っております。2つ目が、裏面ですけれども、総合的な評価をしていただきたいと思っております。まず1番目の事業ごとの評価ですけれども、AかBかCのいずれかに丸をそれぞれ25事業つけていただきたいと思っております。Aは地域の実情、課題に対して効果的・効率的な活用であった。Bは概ね、そうであった。Cはそうであったとはいえない。といった三択で評価をお願いしたいと思っております。それから裏面になります。裏面につきましては総合的な評価としまして、これもAかBかCのいずれかに丸をつけていただきたいと思っております。これは全体を通してお願いいたします。それから、記入例を参考にいただきまして、コロナ対策事業につきまして自由意見の方を枠の中に記入をしていただければと思っております。で、すぐには大変難しいかと思っております。8月末までを目途に、事務局の方まで提出を頂ければと思います。また、様式はメール等でも対応いたしたいと思っておりますので、ご連絡いただければ、メールでの対応もいたします。簡単ですが説明以上となります。

○会長

はい。効果検証シートの記入方法として説明ございましたけども、何かご質問等ございませんでしょうか。

○委員

ここに書いてあるどこの項目に関しても図ることができた、としか書かれていないんですよ。例えば、どのくらいよかったとかっていう数値的なものをここに書いていただけると、すっきりするんですけど、これ書くともうAにつけるしかないような気がしてしょうがないんですよ。他の判断材料がなくて、これをしなかったから5%になるところが75%になりましたとか、25%補完できました、っていう数値的な評価ができると楽だなと思いました。次の会議にはそういうデータがあると判断材料として助かると思います。私の意見です。よろしくをお願いします。

○白石創生推進係長

実はその、令和4年度の事業からですね、国からの指示もありまして各事業に成果目標を定めるようになりまして、今年度の事業からちゃんと何%達成とかしているんですけども、令和2年度と令和3年度については具体的に数字の目標を定めてなくて。

○委員

急な対応なのできつそうなんだろうなという気はしています。分かっていますので、できれば次の会議にはあってくれと助かります。よろしくお願いします。

○会長

他になにかございませんか。

はい。それでは8月31日までの期限ということで、事務局 総合戦略課の方まで提出
よろしくお願いしますと思います。

それでは以上で、協議事項の方を終わらせていただきたいと思います。この後の進行
は事務局の方へバトンタッチをいたします。

8. その他

○総合戦略課長

それでは、その他の項に入ります。次回の第2回の会議ですけども、10月を予定し
ております。効果検証シートの取りまとめと、今度は令和3年度の、事業の内容の説明
を予定しているところでございます。会議については、今年度は2回目の会議、次回の
会議で終了ということをごさせていたいただきたいと思っております。こちらの方からは以上
でございます。皆様の方から何か伝達としまして、ございましたらご意見いただきたい
と思います。

○総合戦略課長補佐

評価シートですけど、この次まで令和3年度事業の評価をしていただきますので、も
う一度までこのA,B,Cという形になってしまいますので、ご了承ください。

○会長

2年度、3年度を今年度、4年度の会議ですということですね。令和4年度につい
てはまた来年度、令和5年度にするということをお願いしたいと思います。

○総合戦略課長

それでは以上ございませんでしたら、閉会の方に入りたいと思います。

9. 閉会